

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	甲状腺分化癌におけるレンバチニブ少量投与の有効性と認容性
	研究目的	甲状腺分化癌に対してレンバチニブは高い抗腫瘍効果が示されている。初回投与量は 24mg から開始し、副作用の程度に応じて徐々に減量するのが一般的である。第 3 相試験において高い休薬率と減量率であることが示され、実臨床でも同様である。しかし高齢や既往症など患者背景に応じて初回投与量を 24mg より少量から開始している報告が散見される。当院でもそのような症例が存在するが、少量から開始したレンバチニブの有効性や認容性に関する検討は不十分である。そのため、今回当院で甲状腺分化癌に対してレンバチニブの少量投与で治療を開始した症例における有効性と認容性を 24mg から開始した症例と比較検討することとした。
	研究対象者	神奈川県立がんセンターで甲状腺分化癌に対してレンバチニブを投与した 36 症例。
	研究期間	西暦 2018 年 10 月 5 日 ~ 西暦 2019 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	山崎春彦
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	乳腺内分泌外科
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし